

ならの木便り

待ち遠しい運動会



運動会まであと何日と、指折り数えている子供たちもいることと思います。未だに夏の名残を残したような暑い日がありますが、吹く風は確かな秋を感じる今日この頃です。

先日、9月25日の水曜日、園庭で運動会のリハーサルを行いました。本部役員の方を始めクラス委員の方々、有志の方々にお手伝い頂き、スムーズにリハーサルを終えることができました。

このリハーサルでは、お遊戯や組体操など、つい先日未熟だったのが見る機会がなかったほんの僅かな日数のうちに、実に上手になっているのに驚きました。

園児たちもやる気十分で、お遊戯や組体操など完成度に近い練習を見せておりました。いざとなると力を発揮する子供たちです。運動会当日はどのような活躍をみせるのか楽しみです。

この前日、24日の火曜日は当麻田小学校の運動会が行われました。本来なら21日の土曜日に行われるはずでしたが、台風の影響で延期になりました。そこでこの日、来年度当麻田小学校へ入学を予定している園児たちを連れて、入学予定児の競技、〔みんなともだち〕に参加しました。その際には小学校でも便宜を図って頂いたりしました。また、参加した子供たちは皆大喜びで、行きも帰りも足取りも軽く歩いておりました。参加できなかった園児たちは、園で楽しく運動会の練習に励んでいました。一旦園に子供たちを送り届けた後、私は再び小学校に戻り、午前中一杯小学生の競技を見学しておりました。

小学校に戻ってみると、ちょうど3年生と4年生の表現〔南中ソーラン2019〕が始まるころでした。幼稚園でも毎年ソーラン節を行います。卒園してから僅か3年から4年で、小学生たちは力強くこの曲を表現しておりました。そして〔ゴールに向かってゴーゴー〕という競技のなかで私の目の前を駆け抜けていく1年生たち、小学校に入学して僅か5ヶ月が過ぎただけなのに、すっかり大人びている様子に、過ぎていく時間

の力を感じました。

考えるまでもないことですが、時間の過ごし方によって将来が違って行くことを思えば、子供たちが幼稚園で過ごす時間を大切にしなければならぬ、今盛んに言われている幼児期の教育のあり方を、私たちは心に問い直さなければならぬと思いました。

“頑張れ未来のアスリート”は普段から行っている体力作りの一端を披露するのですが、これは全員が跳び箱や鉄棒や縄跳びなどを完全にできる姿を目指しているわけではなく、運動会当日までにどのくらいのことができていのかを保護者の方々に見て頂こうという趣旨で行っているものです。この日にはできなくとも、翌日又は翌週或いは一ヶ月後には見事にできるようになっているかも知れない、運動機能向上の為の取り組みとして園では取り入れております。

私は運動会があまり得意ではなくて、かけっこやお遊戯に限らず全てと言ってもいいほど苦手でした。その苦手意識が一層運動能力の足を引っ張ったのかも知れません。子供たちが一生懸命駆けている姿を見ると、一番後ろを走っている私を時々思い出します。でも今だからこそ、一番後ろを走ることだって大いに役に立つことだと思えるのです。そう、一番後ろを走る子がいなければ先頭を走る子、一番の子に貢献をしていたということです。一番後ろを走ることによって、一番イヤな役をいつも私が引き受けていたということになります。お遊戯も、不器用な私がいたからこそ隣で踊る子を引き立てていたのです。そう考えれば私も結構皆の役に立っていたことになります。

今度の運動会でも、私ほどではなくても、運動会が苦手な子はいるはずです。でも、観察力が優れていたり、思考能力が素晴らしかったり、優しい心を持っていたり、どの子も優れた何かを持っているはず。子どもの至らぬ点を分かっていることも大切ですが、お父さんもお母さんも、優れた部分もいくつでも見つけてその都度その点を認めていって欲しいと思います。

浜野和子